

タップリベラメンテとフィルタライザー試作品の試聴

1. はじめに

パワーリベラメンテについては一連の[パワーリベラメンテ導入記](#)と[パワーリベラメンテの展開](#)のシリーズで報告してきました。メーカーでは、パワーリベラメンテが装着できない、直付けケーブルや AC アダプターで電源を供給する機器用に、電源ケーブル付きタップのタップリベラメンテとケーブルに装着して同様の効果を期待できるアクセサリーであるフィルタライザーの開発を行っているという[ネット上の情報](#)があります。直付けケーブルや AC アダプターで電源を供給する機器を多数使用していることから、メーカーに連絡して何とか早期にテストさせてもらえないかと依頼したところ、製品化には多少時間がかかるが、あくまで試作の段階で良ければということとで借用が実現しました。

2. タップリベラメンテとフィルタライザー試作品の試聴条件

2-1) タップリベラメンテの評価条件

対象1：デジタル機器

目的：タップリベラメンテによる複数のデジタル機器への給電効果の確認

対照：オヤイデ製タップをタップリベラメンテに交換

註：現状のパワーリベラメンテ+チクマのタップから事前にオヤイデ製タップに変更、実験後もとの状態に復元する。

接続機器：DA-3000, MYTEK DIGITAL 192-DSD, CCV-5, PC

評価音源：BS 録画再生

PC オーディオによる CD 再生

ベルリンフィルデジタルコンサートホール

対象2：メインアンプ

目的：タップリベラメンテによるメインアンプへの給電効果の確認

註：現状のパワーリベラメンテ+KOJO のタップから事前にオヤイデタップに変更し、実験後もとの状態に復元する。

対照：オヤイデ製タップをタップリベラメンテに交換

接続機器：300B シングルアンプ

評価音源：BS 録画再生

PC オーディオによる CD 再生

ベルリンフィルデジタルコンサートホール

2-2) フィルタライザーFL-7の評価条件

対象3：PC

目的：フィルタライザーFL-7によるPCへの給電効果の確認

註：対象1：デジタル機器は元の状態にし、対象2：メインアンプも元の状態にする。

対照：PC用メガネケーブルを対象とし、これにFL-7を付加
PCへの給電のみタップリベラメンテに交換

接続機器：PC

評価音源：PCオーディオによるCD再生

ベルリンフィルデジタルコンサートホール

対象3：フォノイコ

目的：フィルタライザーによるフォノイコ用DCケーブルへの給電効果確認

註：対象2：メインアンプは元の状態にする。

対照：フォノイコ用DCケーブル2本を対照とし、これにFL-7を付加
フォノイコ用電源への給電のみタップリベラメンテに交換

接続機器：iPhone×2台

評価音源：アナログ再生

3. タップリベラメンテとフィルタライザー試作品の試聴結果

3-1) タップリベラメンテの評価結果

タップリベラメンテは、通常のタップにパワーリベラメンテと同じようなケーブルが繋がったものです。これを下記のような箇所で使用してみました。

対象1：デジタル機器では、BS録画再生、PCオーディオによるCD再生、ベルリンフィルデジタルコンサートホールとも、対照とするオヤイデ製タップでは、嫌な音はしませんが、焦点がぼやけて隅々まで音が出きっていない感じがします。タップリベラメンテに交換したとたん、霧が晴れたようになって焦点が定まり、音像はクリアー、かつ迫力が出てきました。

なお、オヤイデ製タップとタップリベラメンテからは、BS録画再生では、DA-3000, MYTEK DIGITAL 192-DSD および CCV-5 に給電されており、PCオーディオによるCD再生とベルリンフィルデジタルコンサートホールでは、DA-3000, MYTEK DIGITAL 192-DSD および PC に給電されています。

対象2：メインアンプでは、FAL C90EXW をスピーカーリベラメンテ2本のパイワイアリングで駆動している、しなの音蔵オリジナル300Bシングル用のタップをオヤイデ製タップからタップリベラメンテに替えてみました。先程来の音を聴いているので、オヤイデ製タップにすると何を聴いても、音がぼやけて何となくつまらない音に聴こえていたのが、タップリベラメンテに替えると、対象1のデジタル機器の場合と同様に、焦点が定まり、音像はクリアー、かつ迫力が出てきました。

3-2) フィルタライザーFL-7の評価結果

フィルタライザーというのは、中空の木製の筒のようなもので、これに電源ケーブルを数ターン巻きつけて固定します。このものを下記のような箇所に使ってみました。対象3: PCでは、対象1: デジタル機器においてタップリベラメンテを使用した状態で、PCの電源ケーブルにフィルタライザーFL-7を装着してみましたところ、PCを再生に使用するときのPCオーディオによるCD再生とベルリンフィルデジタルコンサートホールで、対象1のデジタル機器においてタップリベラメンテを使用した状態において、さらにノイズっぽいところが消え、音が澄んできて音場の見通しがはっきりしてきました。なお、フィルタライザーは、PCに電源を供給するAC→DC変換の電源アダプターにACを供給するメガネケーブルに装着しています。対象4: フォノイコでは、対象2: メインアンプの電源はパワーリベラメンテとKOJOのタップに戻し、iPhono2台の電源をオヤイデ製タップからタップリベラメンテに替えてみました。アナログ再生は、GARRADO 401のEMT XSD-15からEMTの純正トランスSTX-20経由でiPhonoのL/R独立2台に入力しています。この場合もオヤイデ製タップからタップリベラメンテに替えると対象1: デジタル機器と対象2: メインアンプの場合と同様の変化がありました。この状態でフィルタライザー2個を2台のiPhonoの電源ケーブルに装着しますと、先程のPCの場合と同様にノイズっぽいところが消え、音が澄んできて音場の見通しがはっきりしてきました。なお、iPhonoの電源はAC→DC変換の電源アダプターを直接タップに差し込み、iPhonoにDC電源を供給する長いケーブルに装着しています。すなわち、PCの場合はAC→DC変換の前のACケーブルに、iPhonoの場合はDC変換の後のDCケーブルに装着する違いがありますが、AC→DC変換の電源アダプターの前後の双方のケーブルに効果があったということになります。

4. まとめ

以上、まとめますと、タップリベラメンテ、フィルタライザーとも音像、音場感の向上が認められ、最初にパワーリベラメンテを導入した場合と同じ傾向の印象でした。タップリベラメンテはケーブルにパワーリベラメンテと同じ仕様のようなケーブルが使われているようなので、おおよその予想はしていましたが、フィルタライザーは外見からはこんなものが？という予想に反する効果がありました。中空の筒にケーブルを巻き付けるだけで、タップリベラメンテと類似の効果があり、どのようなところからこのようなアイデアが出てきたのか、どうしてこのようなことが起こり得るのか、不思議でなりません。メーカーではパワーリベラメンテが使えない機器用にセットで開発したということでしたが、タップリベラメンテ単独使用でいいのではないかという予想に反し、メーカーの意図が証明されました。

なお、今回試聴に使用したスピーカーのFAL C90EXWにはEnigmaのSopranino

が付加されていてタップリベラメンテとフィルタライザーの追加によって **Sopranino** の効果がさらに増強され、**Sopranino** によって上記の条件を替えた時の反応が分かりやすい状況になっていることを補足しておきます。

正規の製品発売までは、詳細仕様や外観の変更など、今しばらく時間がかかりそうですが、どこに使うか、これまでのパワーリベラメンテ使用箇所との棲み分けや置き換えを考えておくことにします。

以上